

事務事業評価表

○基礎情報

課名		開発審査課	作成責任者
施策目標	46	開発行為時の規制と秩序あるまちづくりを促進する	中津川 保

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
1 人	8 人	2 人	0 人	0 人	10.26 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
85 時間	0.9 時間

1 施策指標と実績 (Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
開発許可事務及び特定開発事業確認業務の処理 期間	25日	23日	25日	25日	25日
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	無秩序な市街化の抑制
2	開発・建築の許可制度などの適正な運用
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事 者数	会計 区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生 (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1														
2							政策的事業 無し							
3														
4														
合計					H30予算(円) H30決算(円)	0 0								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

開発審査課の第4次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き9事業である。特に開発審査課の主な業務である、都市計画法に基づく開発許可等に関する業務及びまちづくり条例に関する業務については、処理期間の実績値が25日と指標を概ね達成できており、順調に事業が実施できたと考えている。主な理由としては、懸案事項等について毎朝の課内会議において、職員全員で、検討、共有し、早期の方向づけをするとともに各職員の資質向上を図ることにより事務の迅速化や職員の窓口業務の効率化が図られ、一定の効果が得られたことによる成果であると考えている。今後も適正な審査を行うとともに、更なる事務の迅速化を図り、成果を保てるようにしていく必要がある。

一方、事業実施の体制が整っているものの実績がなかった事業についても、法的な位置づけがあり、継続していく必要がある。

また、職員の時間外勤務について、総時間で85時間、一人当たりで換算すると月平均0.9時間であり、前年度より増えているものの、ワークライフバランスが確保されている。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は -)	事務改善の内容
		政策的事業 無し

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は -)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
		政策的事業 無し

6 働きかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果

来庁者の少ない9時頃までに朝のミーティング行い、懸案となる事案等については、職員全員で、検討、共有し、早期の方向づけをするとともに各職員の資質向上を図ることにより、職員の時間外勤務の発生を抑制できている。また、朝のミーティングでは些細なことであっても相談できるため、職員個人で悩まない環境が整えられている。